

しず  
「お静かに、  
ジオと  
プーキー！」



むかしむかし 昔々、ジオとプーキーという2匹の子ザルがいました。  
かれ 彼らは おしゃべりが 大好きでした。いつも いつも しゃべって  
ばかりで、弟の 赤ちゃんザルが ねむろうとしている 時にも、  
うるさく 音を たてていました。

「いつかは 静かに しなければ ならないものよ。」 お母さん  
ザルは そう 言って、2匹を たしなめました。

でも、ジオとプーキーは 口答えを します。「ママ、ぼくたちは、  
いつも おしゃべりしているのが 好きなんだ！」そして、しゃべり  
続けるのです。

ジオとプーキーは、お昼ねの 時間や、夜 ねる 時間  
になっても、しゃべり続けます。何かを 静かに 読む 時間でも、  
しゃべっているのです。

ある日、お母さんザルは 2匹の わんぱく子ザルを よびました。  
「ジオとプーキー、ちょっと いらっしやい。」

お母さんザルは 2本の 枝を 指差して 言いました。  
「ジオ。あなたは ここに すわって。そして プーキー、あなたは  
そっちよ。今から ちょっとだけ、静かな 時間を 過ごすの。」





「『<sup>しず</sup>静かな <sup>じ かん</sup>時間』って、なあに？」

ジオと プーキーが <sup>き</sup>聞きました。

<sup>に ひき</sup>2匹は <sup>す</sup>しゃべるのが <sup>す</sup>好きなのに、

<sup>しず</sup>静かな <sup>じ かん</sup>時間だなんて、おしゃべりが

できなさそうです。でも、その

<sup>じ かん</sup>時間が <sup>いっ たい</sup>一体 <sup>なん</sup>何のためなのか、

<sup>に ひき</sup>2匹とも <sup>きょう み しん しん</sup>興味津々でした。

「こうするのよ。」と <sup>かあ</sup>お母さん

ザルが <sup>い</sup>言いました。「まず、

<sup>りょう て</sup>両手を <sup>く</sup>組んで。それから <sup>め</sup>目を

<sup>と</sup>閉じて、イエス様の <sup>さま</sup>絵を

<sup>おも</sup>思いえがくのよ。口は <sup>くち</sup>閉じて、

イエス様が <sup>な</sup>何か <sup>い</sup>言いなさいと

<sup>い</sup>言われるまでは、<sup>なに</sup>何も <sup>はな</sup>話しちゃ

いけないの。イエス様が

<sup>はな</sup>話しなさいと <sup>い</sup>言われたら、<sup>かれ</sup>彼が

<sup>い</sup>言われたことを <sup>かえ</sup>くり返して <sup>い</sup>言うのよ。」

にひき こ りょうて く くち と  
2匹の子ザルは両手を組んで口を閉じ、  
め つぶりました。やがて、おしゃべり好きの  
こ ず  
子ザルたちは静かにして、  
こ  
イエス様が何と云われるか、  
さま なん い  
耳をかたむけ始めました。  
みみ はじ

「ママ、イエス様の絵が  
み  
見える。」とプーキーが  
い  
言いました。

「ぼくも。」と  
ジオも言いました。

「イエス様は、何と  
さま なん  
おっしゃってるの？」と  
かあ き  
お母さんザルが聞きました。

「おしゃべりするのはいいけど、  
ママが静かにしなさいっていう時とか、  
とき とき しず  
時々には静かにすることも学ばなくちゃ  
まな  
いけないって。」と、プーキーが答えました。  
こた



「イエス様がね、<sup>さま</sup>静かに<sup>しず</sup>している<sup>とき</sup>時には、  
ほかの<sup>なか</sup>仲間が<sup>ま</sup>話している<sup>はな</sup>ことが<sup>き</sup>聞こえるから、  
あたらしい<sup>あたら</sup>ことが<sup>まな</sup>学べる<sup>まな</sup>って。」と、ジオも  
い<sup>い</sup>言いました。「だって、イエス様が<sup>さま</sup>ぼくに  
はな<sup>はな</sup>話したい<sup>き</sup>ことさえ<sup>き</sup>聞こえる<sup>き</sup>んだものね。」

「ママ、<sup>しず</sup>静かにな<sup>さま</sup>って<sup>みみ</sup>イエス様に<sup>みみ</sup>耳を  
かたむける<sup>おし</sup>ことを<sup>おし</sup>教えて<sup>おし</sup>くれて、<sup>あ</sup>ありがとう!」と、  
プーキーが<sup>い</sup>言いました。「もし<sup>い</sup>おしゃべりばかり  
していたら、イエス様が<sup>さま</sup>言<sup>い</sup>われる<sup>い</sup>ことを  
き<sup>き</sup>聞く<sup>き</sup>ことなんか、<sup>き</sup>できな<sup>き</sup>かった<sup>き</sup>ものね。」

「ママは<sup>かあ</sup>うれしいわ。」と、お母さんザルが  
い<sup>い</sup>言いました。「さあ、いっしょに<sup>あそ</sup>遊んで<sup>あそ</sup>らっしゃい。」

ジオとプーキーは、<sup>て</sup>手をつないで<sup>て</sup>いっしょに  
はし<sup>はし</sup>いて<sup>い</sup>行きました。<sup>まえ</sup>前よりも<sup>しあわ</sup>幸せに、そして  
かしこ<sup>かしこ</sup>賢<sup>かしこ</sup>くなって。

お  
終わり

